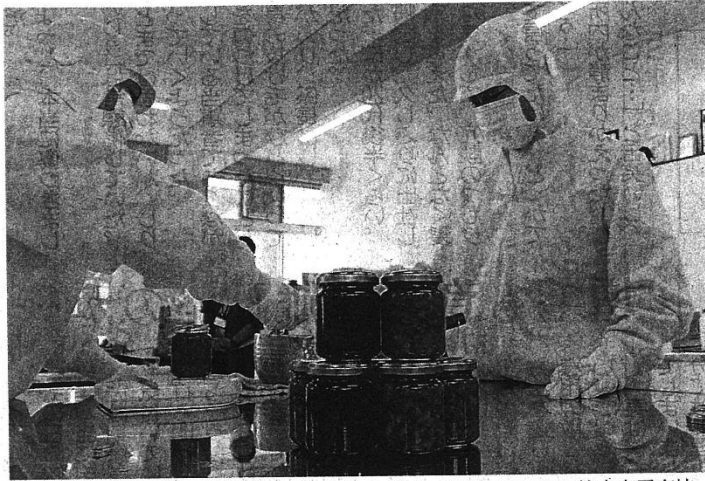


篠山東雲高生、獣害対策と地域活性化目指し

# 放置柿使い加工品開発

ジャム、パウダー、ドライフルーツ

篠山東雲高校（丹波篠山市福住）の生徒たちが、サルによる獣害を防ぐために収穫した放置柿を材料に、ジャム、パウダー、ドライフルーツの3商品を開発した。獣害対策に取り組み丹波篠山市は、生徒の取り組みを応援しようと、3商品を主役にしたスイーツレシピコンテストを企画、ジャムをふるさと納税の返礼品に加える。



獣害対策で収穫した柿を篠山東雲高校生がジャムに加工した＝篠山東雲高校

## 丹波篠山市 コンテスト レシピを募集

丹波篠山市ではサルによる農作物の被害が課題になっている。同市畑地区では「さる×はた合戦」を実施。

地元の獣害について学ぶ同校の生徒も参加してきた。イベントで収穫した柿の一部が活用されない実態があり、獣害対策の周知に努めようと、同校は3年前から生徒による加工品の開発を開始した。後輩が引き継ぎながら改良を重ね、今年は2年生が中心となり、加工実習の授業などで取り組む。

ジャムは久保柿と富有柿の2種類で、柿の食感も楽しめるよう果肉を残している。クッキーなどに使えるパウダーは、ジャムを作る際に取り除く皮を乾燥、粉砕して作った。ドライフルーツは、久保柿の星のように見える断面を生かそうと考案。柿本来の甘さを味わえるようにした。

市は「一連の活動を、獣害対策にとどまらず地域の活性化につなげたい」と、商品のPRに乗り出し、今回の企画を立案した。

ふるさと納税では、柿ジャムを、丹波黒大豆や丹波栗のジャムとセットで、11月から返礼品にする。

レシピコンテストは、まず参加を申し込み、市から

届いた3商品のいずれかを使ったレシピを作り、書類を提出する。書類審査で選ばれた6組が2次審査で料理を実演し、最優秀賞が決まる。

市の担当者は「誰でも作れて、親しみを感じるオリジナルレシピを考えてほしい」と話す。

参加申し込みは10月31日

締め切り、レシピは12月22日までに提出する。1組は最大3人まで。エントリーはQRコードから。市森づくり課 ☎079・552・1117



市森づくり課 ☎079・552・1117

2023年10月30日  
神戸新聞